



## エンゼル・ヴォイス通信

平成30年12月  
(2018年)

会報27号



### ご あ い さ つ

秋晴れの紅葉真ただ中。今日は11月16日(金)、会員の皆様にエンゼル・ヴォイス通信を書いています。白いカーテンの向こうは、青空が広がり、カーテンを通して日の光がさし込んでいます。自然の恩恵を受けて生かして頂けていることに感謝です。

2018年もあと1か月余りで過ぎ去ろうとしています。この1年間もいろいろなことがありました。その中で一番輝いていた1日。思い出に残った1コマが、10月7日(日)奈良県文化会館国際ホールでの、あの調和されたひとときを、会員の皆様と共に過ごせた時間だったと思います。皆様一人一人、それぞれが輝いて見えました。とても美しく思いました。

芸術は、美を追求しつづけられる世界です。自分の身体を調整し、丹田からの1本の息の柱を自由に使える技をみがき続けておられる会員の皆様は、あの瞬間、美と調和の世界を表現してくださったと思います、

毎回、発表会の出来上がってきたCDを聞いて、進歩されたな〜と嬉しく思います。発表会を重ねるたびに、声の透明さが増してきます。息の量が自由になり、声量も少しずつ出てきました。リキミも少しずつとれ、聞き心地良い心のこもった言魂が、聞いている方々の心にしみわたりました。

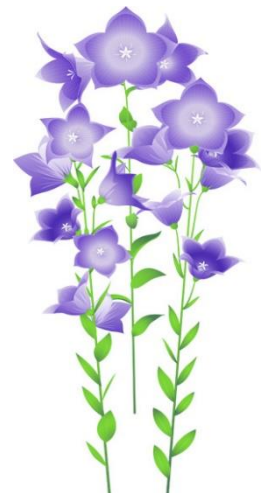
何よりも、DVDに写っておられる皆様の明るいさわやかな表情、元気そうなお顔を拝見し、歌の力のすごさに改めて感動いたしました。

声・心・体を育てる丹田式呼吸法と発声法の指導がスタートして30年。この節目の年に、大きな会場で皆様と共に過ごせた貴重な時間は、何ものにもかえがたい宝物となりました。

今回は、10周年記念大会。2年後にお会い出来ますことを楽しみに、コツコツと精進を重ねてまいりたいと思っています。

本当にありがとうございました。よいお年をお迎えくださいませ。

門 前 啓 子



発表会が 奈良新聞に掲載されました！

奈 新

(第3種売物誌認可)



## 「本当の声」出そう

声楽家・門前さん門下生ら記念大会

### 「丹田」を意識し合唱

深い呼吸と健康  
実感し指導

正しい呼吸法で自然に声を出す「丹田式発声法」の指導者、門前啓子さん（奈良市）が7日、同市登大路町の県文化会館で自身が設立した「一般社団法人丹田発声協会」（会員約450人）の8周年記念大会を開催。門下生による合唱や独唱に加え、来場者も参加しての全員合唱で「本当の声」の魅力を伝えた。

声楽家として舞台に立っていた門前さんはボイストレーナーのアントレア・ブランドーニ氏との出会いで、その下の「丹田」を意識する深い呼吸法による発声が声はもろろ人、心身に良い影響を与えることを実感。約30年前「日本の子どもたちに正しい声の出し方を伝えたい」と各地の小学校をボランティアで回り始めたという。

記念大会には同発声法の指導者約40人と教室生約200人が出演。門前さんはあいさつで「自分を育てる素晴らしい発声法をさらに広げていきたい」と話した。

県文化会館で240人が披露

客席に発声法を指導する門前さん＝7日、奈良市登大路町の県文化会館

ピコリ 2018年10月5日(金曜日)

★手作り体験イベントならリビングフェスタpreイベント★

11月21日  
10:00～16:00

奈良ロイヤルホテル2階  
近鉄新大宮駅から徒歩10分

きれいかわい  
フェスタ & Over50 フェス 2018

エンゼル・ヴォイスセミナー出張講座  
～丹田式呼吸法で体も心も元気に～

①10時30分～11時30分  
②13時30分～14時30分  
【参加費】1000円

【講師】一般社団法人「丹田発声協会」  
理事長 門前啓子さん

「声の基本は正しい腹式呼吸にある」との思いから、丹田式呼吸法を生み出した門前啓子さんによる特別セミナーです。正しい呼吸法で声を出すことは体も心も健康に導いてくれます。喉を駆使している人はもちろん、声を出す機会が少なくなっている人も、正しい丹田式呼吸法を学び、最後には参加者全員で日本の懐かしい歌「ふるさと」を声合わせて歌いましょう。

ならリビングフェスタにて  
エンゼル・ヴォイスセミナーを  
されました！

## 丹田発声協会 8周年記念大会を終えて

がこの発声法に出会ったのは、今から14年程前、丁度息子が6歳のときでした。

**私** 幼い息子を連れて個人レッスンに通ったこともありましたが、家に帰ってから息子が、「アエアエアッアッ」と真似していたのを思い出します。その息子も今や大学生。

私は子育てのかなりの時期をこの発声法とともに歩んできたこととなります。

出会いとは不思議なものです。出会うこと自体運命的なのですが、その運命的なものをキャッチするには、自らアンテナを張っていなければなりません。私は当時、地元の合唱団の指導を初めて間もない頃でした。私なりに音楽的なことは指導できるのですが、ピアノ科出身の私は、殆んど発声の基本が解っていない状態でした。「これでは合唱団のメンバーに申し訳ない。一から発声の勉強をしなければならない…」と思っていた矢先に、この発声法と出会ったのです。本当にラッキーでした。

個人レッスンを始めたばかりの私は、いつもルンルン気分。何しろ次のレッスンまでに練習してこなくていいのですから。ピアノ科の学生時代、どんなに長時間練習しても、なかなか結果が出なかった時期を経験している私には、本当に気楽で楽しくて身が軽くなる思いでした。

この発声を始めて3年ほど経った時、実力が安定してきたのを感じました。息3年とはこういうことを言うのでしょうか。それから2年ほど経った時、喋る声が変わってきました。よく響き、よく通る声になってきたのです。変化したのは声だけではありません。ピアノを弾く時も丹田を意識することにより、上半身の脱力が自然にできるようになりました。私に以上のような変化があったように、他の会員の皆さまもそれぞれ色々な変化に気づかれていますのではないのでしょうか。

エンゼル・ヴォイス合唱団発表会も今年で3回目になりましたが、回を重ねるごとに実力がアップしてきていると感じています。紛れもなく、団員一人一人がより深くこのメソッドを体得してきたことの成果だと思います。

また、今回初めて披露した講師合唱では、門前先生の学生時代の思い出の曲「小鳥の旅」に挑戦しましたが、今後も歌い続けることで、より表現豊かな演奏になっていくのではないかと考えています。



自分の身体の中に丹田という意識の中心があることは、生きていく上で大きな強みです。そして、同じ方向に向かって勉強し続ける仲間がいることは大きな喜びです。この先見えてくるであろう景色を楽しみにしながら、今後も勉強を続けていきたいと思っています。

支部講師 松尾 真紀



発表会本番近く、松尾先生に突然「小鳥の旅」の指揮をお願いしたにもかかわらず、快く引き受けてくださり、私のイメージ通りの曲に仕上げてくださいました。確か2回位の練習で曲がまとまったと記憶しています。講師全員の日頃の精進のお陰かと思いますが、心を一つに素晴らしい合唱だったと嬉しく思っています。ありがとうございました。

息3年。簡単な歌曲を歌うには7年と言いつけて、講師の方々に気長についてきて頂くことをお願いし続けてまいりました。気がつけば10年以上の年月が流れて、講師の方々の実力も増し、それぞれの才能も開花し、お互いに認め合える素晴らしい講師集団が出来ました。これからもますます努力し、栄養を貯えた蕾が大輪の花に開花する様を、皆で楽しんでまいりましょう！ よろしくお願いたします。

門 前 啓 子





## 丹田式発声法レッスンを受けて

今年9月から入会致し現在2ヶ月が経ちました。レッスンを受けるようになったきっかけは、声が出なくなるトラブルに悩まされていたからです。

私は企業の人材育成の研修会社を営んでおり、自らも講師をします。また倫理法人会という経営者の勉強会の会長職も担っており、各地で講話をする機会もありますが、頻繁に声を枯らして困っており、時には注射をしてまで仕事に向かった事もあります。きっとこれは自分の発声方法に問題があるのだと感じており、ヴォイストレーニングが必要だと探し始めて、インターネット検索で門前先生と出会いました。

いろんなヴォイストレーニングの教室を調べましたが、どれも納得がいかず、門前先生のこのレッスンの理論や何より、レッスン開始の頃の志に惹かれて、電話をかけました。そこで、紹介されたのが、音声障害が専門でポリープも改善してしまうという木村博子先生で、通い始める事にしました。

この力まない発声法というのは、私の研修の中でもお伝えしている、頑張るのではなく、自然体で最大の能力を発揮するという理論とも通ずるところがあり、とても納得がいく内容でした。

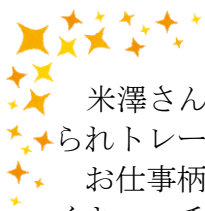
たった2ヶ月ですが、登壇すると自分の声が体の中で気持ちがいい響き方をして、声が遠くまで飛んでいく感じがし始めています。

先日のコンサートでは最後に合唱させて頂きましたが、生徒さんではない方も一緒に歌っているのに、ビックリするほど綺麗で透き通るような声で、会場が一体感に包まれました。これは、コンサート開始から何時間も綺麗なコーラスの声をずっと聴いていたから、集合意識となって美しい歌声となったのだと感じました。とても不思議な感覚でした。自分の声があんなに軽く優しくのびやかであった経験も初めてで、歌う事の楽しさも体験出来ました。

木村先生のご指導はいつも丁寧で、私のお腹の動き、息の出方まで詳細に観察しご指摘下さいますので、とても有難いです。毎週楽しみにしています。

たった2ヶ月のレッスンで変化を感じていますので、これからが楽しみでなりません。門前先生のように70歳を超えても鈴が鳴るような魅力的な美しい声で話せるようにこれからもレッスンを続けていきます。この素晴らしい丹田式発声法が次の世代へと永続的に引き継がれていく事を切に願います。

米澤 忍 (51歳)



米澤さんは、お仕事で喉を酷使される事が多くインターネットで、私たちの発声をみつけられトレーニング（個人レッスン、月4回）を開始されました。

お仕事柄（？）さすが理解力、集中力の高い方で数回のレッスンで、ご自身の変化を素早くキャッチ、体感されご報告して下さいととても嬉しかったです。

いつも颯爽とカッコ良い米澤さんですが、声を磨いてさらに魅力を増して行って下さいね。

本部講師 木村 博子

## こんなに楽しく体調を改善—辛い病院通いから解放され

**私**が初めて強い目眩におそわれたのは、幼稚園教諭の仕事からケーキ教室の講師へ転職しようとしていた頃でした。時々脳貧血を起こすような体質ではありましたが、職場で倒れ救急車で運ばれるも特に原因がわからず点滴のみで数時間で家に帰されましたが、私の地獄はそこから始まりました。毎日の通勤もままならず、電車を途中で降りたり、幼稚園の塀を伝ってなんとか出勤し、周りの助けを借りながら、なんとか退職日まで勤め上げました。

それからはすぐに再就職も叶わず、大きな病院のいろんな科をたらいまわしにされ、行き着いた目眩専門外来でも精神的なストレスによるものというあやふやな診断で、ただただ処方された薬を飲んで、突然酷くなり日常生活にも支障が出る目眩の恐怖と半年ほど闘いました。最近では、発作的な目眩の頻度は半年から一年に一度くらいにまで落ち着いてはいましたが、結婚し、出産、子育てをしていく中で決してなくなりほしくないこの症状をなんとかしないと、という思いは強くなっていきました。

そんな中、一年ほど前漢方の先生から一度「慢性疲労症候群」の検査を受けてみないかという提案があり、専門の病院で診てもらえることになりました。検査の結果その病気ではなかったものの、それに限りなく近い自律神経失調症による慢性的な睡眠障害であると診断されました。初めて、「原因がわからないのでストレスでしょう」という診断から脱却できたのです。しかし、睡眠導入剤や精神安定剤は、私の体には負担が大きく、小さな子どもと行動を共にすることに不安を抱えるほどの副作用がありました。それもまた、半年ほど服用したところで、過呼吸発作などが深刻になり、家族と相談して薬の服用を中止することを決断。また、ふりだしに戻ってしまったと落胆していた時でした。

私にとってのまさに天使と出会えたのです。今の仕事の関係でお会いした方が、丹田式発声法を紹介してくださったのです。はじめは半信半疑でした。何年も大きな病院から専門病院まではしごしてきた私にとって、発声だけでこの症状が解消していくとはとても思えませんでした。それが今から3ヶ月ほど前のことです。



でも私には他に選択肢がもうありませんでした。すがる思いで体験レッスンの予約の電話をした時、門前先生は、明るく優しく、そして力強く「大丈夫よ」とおっしゃってくださいました。私の目的から考えて、個人レッスンを月に4回お願いすることになりました。発声練習は、高校の時3年間毎日コーラス部で行っていましたし、その後も声楽を習う機会もありましたので違和感はありませんでした。あの時の発声より、より正確に丹田を意識し、より丁寧に自分の息を感じました。そして、今までの自分の丹田意識の腹式呼吸が嘘っぱちだと知りました。お腹から息を出していると思いついていただけで、本当はお腹を動かしていただけたんだと。

たった一週間そこらで、3ヶ月遅れていた月経が始まり、そこからは毎月順調になりました。生理不順は昔からの体質でした。そして、たった一ヶ月で寝つきが良くなりました。未だ、2～3週間に一度は眠れない日もありますが、ほとんど毎日寝付かなかった私にとってどれほどありがたいことでしょう。

音楽とアロマに助けられながらも、今まではそれだけでは眠れませんでした。眠たくてたまらないのに眠れないのは苦痛で、そのしわ寄せは日中子どもと過ごしている時や仕事に勝手に瞼が落ちてしまいそうになるほどでした。

先月、いつものレッスンに加え、台風の際の振替レッスンが4日あけてあり、さらにその次の日が発表会、そしてまたその2日後がレッスンという、詰めてレッスンを受けた時がありました。普段のレッスンでは、発声をするだけなので自分の声の変化に気づかないでいましたが、発表会の最後の全体合唱のとき、自分の声がいつも喉に勝手に切り替わってしまう音の箇所がなくなっているのに気がつきました。お腹を、そして切り替わらないように息を通す場所を頑張ってみても、まっすぐ声が出ることに感動したのです。担当の先生も、私の少しずつの変化に毎回とても喜んでくださいますし、とっても褒め上手です

あんな辛くて苦しい病院通いから解放されて、こんなに楽しく体調を改善できるなんて今でも信じられません。でも。この短期間での変化は本物で、これから先、突然の目眩や慢性的な眠気も緩和していくことを楽しみにしています。

T・M

Tさんは、レッスンを開始してまだ三ヶ月ですが、体験談にある様に驚く程、早々と色々な嬉しい変化が起きておられます。

自律神経失調症と睡眠が取りにくいとは、当初から伺っておりましたが、こんなに大変だったんだと私も今回の体験談で初めて知りました。超短期間に大きく改善された事本当に良かったですね。

この体験談を読ませて頂き、又私自身、このお仕事をさせて頂いている事に改めて有難い事だと感謝と喜びに心が震える思いを抱かせて頂きました。

昨今、NHK含めTVでもお医者様が免疫力UPには「呼吸が良い」という事が多く言われる様になりましたが、その中でも、この“丹田式呼吸法”がいかに素晴らしいものであるかを、一人でも多くの方に知って頂きたい、伝えていきたいと、強く思っています。

本部講師 木村博子

## 「継続は力なり」を実感

**私**は、学園前教室に入会して約2年になります。

入会の動機は、趣味として始めた詩吟を少しでも上手になりたいと思ったからです。詩吟は、節回しで詩の心を表現することが最も大切ですが、声域や声量の幅がなければ迫力に欠けます。吟唱する時は腹式呼吸が基本になります。

約2年間、木村先生にご指導をいただき、先般10月7日の8周年記念大会では、初めて会員合唱の部に参加し、何とか自分なりに歌うことができたと思っています。

また、先日、私の属している詩吟くらぶの発表会で、金賞をいただくことができました。今までは、高音や低音部分で息が苦しくなっていました。今回はかなりスムーズに声が出ていたのが自覚できました。声域や声量がかなり改善されたということだと思います。

この二つの発表会の結果は、もちろん木村先生のご指導と練習のおかげですが、如何に日々の積み重ねが大切かを私に教えてくれました。

「継続は力なり」を実感した二つの発表会でした。

井上 修一 (67歳)





井上さんは、当初から、個人レッスン月4回を、お休みする事もなく熱心に続けておられます。最近では、ヴァッカイの4度、5度も発声から歌へスムーズに移行できるようになられています。

詩吟の方でも、その成果が現われて、去年は風邪を引いている中でも銀賞、今年は、見事に金賞を取られたとの事。私もとても嬉しく思います。(聞くところによると、スピードでの金賞受賞だそうです！)

これからもコツコツ淡々とヴォイトレに取り組んで、増々力をつけていって下さいね。

本部講師 木村博子



## 「丹田 実りの秋」

丹田で歌い始め、丹田で歌い終えた初参加のコンサートは、里山の脇を流れる清流のようにソプラノとアルトとの美しい響きを楽しむものでした。

去年の10月より「講師合唱」に参加。渡された約20曲のアルトの楽譜に尻込みし、混沌とした数ヶ月を過しました。それは、アルトの音域にボイスチェンジがあった苦しみの学生時代を彷彿とさせるもので、不安がよぎったからです。

中野先生には、泣き言。門前先生には「ロパク参加となりそうです。」とあり得ない返答を致しました。両先生は、「参加して下さいありがとうございます。大丈夫よ、ロパクで。みんなそんなもの…」その瞬間、ハッとしました。「そうだ。私は12年間門前式発声法を勉強してきたのだから丹田に任せよう。歌詞は覚えよう。」と。そこからは、指揮指導して下さい先生方に耳を傾け練習を重ねていきました。色々な角度から勉強させていただき貴重な時間となりました。特に日本の童謡が美しく、大好きになりました。イタリア歌曲4曲もまるでおいしいデザートのようにでした(?)

先日、11月の1回目のレッスンの際、次の方が私のヴァッカイの4度を聞いて、

「うわー、別人かと思った。何かあったの？すごく良くなってびっくりしました。」

と言ってくれました。努力は報われました。実りの秋を収穫満載にして下さいました。

苦しくて救われなかったと思っていた過去があり、門前先生にご縁を賜りました。そして中野先生にご指導していただき、少しずつ丹田の蕾がほころび始め、ホッと秋になりました。

門前式発声法、万歳！心より感謝 御礼申し上げます。

あとがき… ステージ上の皆さんがキラキラ女子大生に見えたのが不思議。丹田で若さまで手に入れてるのですね。

認定講師 大植 えつ子



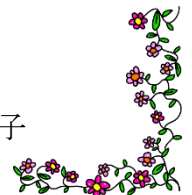
大植さんの入会申込書を見直してみましたら2007年2月1日。

あれから12年。お互い家庭や子供のことなど悩みはつきませんでした。門前式発声法のおかげで、常に自分を整え、元気に前向きにすることができたので、共に乗り越えられた感じがします。

いつも笑顔でパワフルな大植さん。今後は、この門前式発声法を、

世のため人のために伝える認定講師としてのお役目を期待しております。

本部講師 中野 恵子





❖小崎教室の皆様より❖

★この度の発表会に参加でき、よい経験をさせていただきありがとうございました。発表会に向けて事前に合同の練習会があったことは、とても良かったです。当日も午前中に発声の時間をとっていただいたので、スムーズに合唱に臨むことができました。

◎イタリア歌曲勉強会の発表

私自身はまだまだ不十分な出来でしたが、先生方の声に包まれながら、曲の所々で声の一つに溶け込んでいると感じる瞬間がありました。少し鳥肌が立つような感覚を覚えました。

◎エンゼル・ヴォイス合唱団の発表

曲想をしっかり考えて基本の姿勢や自然に出てくる自分の息を（信じて）声にしていくと、以前より楽に歌えたように思います。特に“小さな木の実”“海”の曲で感じました。

◎講師合唱団の発表

一度は聞いてみたいととても楽しみにしていました。期待していた通り、どの曲も透明感がありひきこまれていきました。“小鳥の旅”の冒頭は特に、柔らかく魅了されました。

◎全体を通して

開演がもう少し早められたらよかったのではないかと思います。イタ勉やエンゼル・ヴォイス合唱の講師との合同練習日を、年間で何回か持っていただけたらと思います。

◎最後に

一人ひとりの息が合わさって一つの音になっていく時間は、至福の時です。これからも基本を大切にしながら、自然の息を育てていきたいと思います。

下垣 孝子

★先生のととても丁寧なご指導を頂き有り難うございました。声が無理なく自然に出て、とても澄んでいて心地よかったです。ピンクとブルーのドレスの色が美しかったです。入場者の方も最後に共に歌えた事は、良かったです。

池田 洋子

★ありがとうございました。とても良かったです。声がよく響いていました。ただ、私は、会員合唱Aでしたので、Bのみなさんののが聞けず残念でした。Bの方達の並ぶ間に座席にもどれた気がします。

平松 かよ子

★第二部のイタリア歌曲勉強会の第一声を聴いた時、思わず涙が出ました。今回は自分がエンゼル・ヴォイス合唱団に参加している事も嬉しくて、二部が始まる直前までウキウキして、ちょっとお祭り気分でした。第一声で心がシンと静まり歌の美しさに包まれました。

第三部講師合唱の「小鳥の旅」は、いい歌ですね。初めて聴いた歌ですが、言葉（内容）がよくわかりました。

第一部、第三部を通して門前先生のレッスンが十二分に受けられて大変良かったです。

斉藤 豊子





★当日は、門前先生の特別レッスンを受ける事が出来、本番では、自分でも驚くほどラクに軟らかい声が出て、とても嬉しく楽しく過ごす事が出来、今更ながら門前先生のすごさを実感しました。

77才で初参加でしたが、丹田発声を教わっているお蔭で大好きな歌をまだまだ歌い続けられそうに思え、新たに生き甲斐が見つかった気分です。これからも、今まで以上に健康に気を付けて、丹田発声と共に長生きしたいと思います。

三木 恭子

★10月7日 さわやかな秋の一日を先生方や会員の皆様と共に過ごさせていただき、とても楽しく充実した時間でした。

門前先生の直接のご指導を受けることができたことは何よりも嬉しく、先生のお声の美しさと若さに改めて感動し、丹田を意識する深い呼吸法をこれからもライフワークとして学び続けていきたいと思いました。

小崎先生のレッスンは、門前先生のメソッドを忠実に再現されていて、門前先生のお言葉と小崎先生がいつもおっしゃっているお言葉が重なり、ありがたく嬉しく感じました。会員の皆様と共にステージに立って歌えたことは、とても楽しく嬉しい経験でした。

十八年間続けているゴスペルは、ほとんどが英語なので、母国語である日本語で歌うことは、とても心が落ち着き、リラックスできることも感じました。

たくさんの良い経験ができました。ありがとうございました。

秋山 喜代美

★参加者の皆さんの以前にも増して、柔らかい、きれいな歌声にびっくりしました。聴いていてとても心地よかったです。

門前先生のお声、澄み切ったお声を聞いて「声は育つ」といつもおっしゃっていたことを実感しました。失礼を承知で声をボールペンの芯に例えると、私の声を1mmとすると、先生のお声は2年前（私が最後にお聞きしたのが2年前）を0.3mmとすると、今回は0.1mm。このように感じました。 次回の大会が楽しみです。

宮崎 久美

★会場係で、扉がとても重く、年を召した方や体の不自由な方にとっては開けにくかったので、扉を押さえて開けていました。会場の座席は、ほどよい混み具合で案内は必要ないようでした。

門前先生の第1部のレッスンをしっかりと受けることができ、体が元気になった気がしました。第3部でも呼吸を丁寧にしていただいて、とても嬉しかったです。

Aグループの歌声が美しく、講師の方々の和声が自然で心地よかったです。講師の方々の歌声がとても澄んでいて軽やかで特に「小鳥の歌」にぴったりだなと感じました。

全体で8曲（多すぎず少なすぎず、ちょうど良い曲数だと思いました。）皆さんと歌うことができ、とても楽しく充実感がありました。リハーサルがスムーズで本番に安心して臨むことができました。門前先生が、その時々アドバイスされているのが興味深かったです。

ありがとうございました。

藤戸 夕佳

## ❖ 寄せられたいろいろな声 ❖

### ヴォイストレーニング

- \* 1部と全体合唱の前の合計2回も門前先生からヴォイトレを受けられて良かった。全体合唱がとても良かった。声が途中でチェンジせず、自然に出た。
- \* 門前先生がヴォイトレをしてくださり、お客さん向けにさらにしてくださったのが良かった。
- \* 普段歌うことがないのに、先生のヴォイトレで心地よく久しぶりに気持ちよく歌えた。来ていただいた皆さんも、喜んでおられました。指導がすばらしい。

### イタリア歌曲勉強会・講師合唱団

- \* 発表会前の講師を含めた全体練習の機会が大変良かった。門前先生が教えてくださって良くわかった。年に一・二度こういう練習をしたい。
- \* イタ勉、エンゼル・ヴォイス合唱団の方々为本番最後のレッスンを合同で門前先生にレッスンして頂けた事とても喜んでおられました。舞台に向けて意識も高まり気持ちもひとつになりました。門前先生のレッスンを受け、歌が良くなる体験が素晴らしく、次回の演奏会前もぜひ門前先生のご指導で合同練習を希望していました。

### 会員合唱

- \* 会員さんが私服で舞台上がられたのがよかった。たくさんの方の合唱なのに、うるさくなく天国にいるような感じだった。
- \* 事前の練習もないのに、リハーサルだけで一つになるのがすばらしい。アルトの支えがあると音が広がる。



### 講師合唱

- \* 当日風邪をひいていて、どうなることかと思ったが、ヴォイトレからだんだん声が出るようになり、また、改めてこの発声のすごさを感じた。
- \* 講師合唱の本番がすごく良かった。「小鳥の旅」が良かった。
- \* 講師合唱団の練習に初めて参加し、皆さんの声を聞いて縮こまってしまいました。前に出て指導して頂いた先生方をはじめ、多くの先生方にとってもお世話になり、ありがとうございました。アルトパートを歌うのも初めてでしたが、いつの間にか自分のチェンジヴォイス（長年悩んでいた）の一音が克服されていて驚きました。

### お見送り

- \* 見送りの際にたくさんの方に囲まれ、エンゼル・ヴォイスの説明をする機会があった。みなさん興味を持って質問されていた。
- \* お見送りの時間を取った事は良かったです。顔見知りの方や会員の方々がほとんど声をかけに来て下さり、終演後の感動を共有でき感動の冷めないうちにお話する事ができました。
- \* お見送りの時、会場を出ていかれるお客様が、全員ニコニコと高揚した笑顔をされていたのを見て、すごく嬉しかった。何人かの会員さんと思わず握手をしてしまった

### 発表会全体

- \* 今まで来られなかった友人がたくさん来てもらった。耳に心地よく、心が洗われた。介護で体が疲れているのに、歌えてよかった。
- \* 皆で歌えたのが楽しかった。小学校で教えていた子供達が会員合唱に参加してくれて、一緒に歌えて嬉しかった。奈良の子供達に、この声を聞かせてあげたい。後任で頑張ってくれている小学校の先生に『声が出なかった先生がドレスを着て歌っている姿が信じられない』と言われた。今、歌うのが楽しい。

- \* 10 分間メソッドをされている生徒さんがおられます。発表会の後、レッスンはやりやすくなりました。門前先生のミニヴォイトレのおかげです。昔むかしに、大中恩さんの合唱コンサートで、皆の声が一本に聞こえて感動した事を、今回の発表会で思い出しました。
- \* 今回は係がなくて、楽をさせてもらったので、次は何かお手伝いをさせていただきます。
- \* 音楽の高校に通っていました。以前は合唱はあまり好きではなかったのですが、発表会の練習を重ねていくうちに合唱が非常に楽しくなりました。主人が『赤とんぼがよかった』と言っていました。
- \* 豊中の発表会から 5 回め、毎回、主人が観に来ていますが、『今回が一番良かった』、そして『丹田式が分かった』と言っていました。

## 丹田発声協会からのお知らせ

### ① 2019 年／年会費についてのお願い



- ♥ 自動振替の皆様は、1 月の振替が 2 回ございます。

1 回目 2019 年 1 月 4 日 → 1 月の受講料  
2 回目 11 日 → 年会費 ¥2, 160

自動振替の皆様は、2018 年 12 月末までに、ご準備くださいますようお願い致します。  
(休会中の方につきましても、年会費を自動振替致します。)

- ♥ 休会中で自動振替手続きがお済みでない方につきましては、お手数ですが、年会費 ¥2, 160 を下記の口座まで 2018 年 12 月末までにお振込み下さい。

ゆうちょ銀行： 1 4 4 5 0 - 2 2 5 7 7 3 5 1  
名 義： 一般社団法人 丹田発声協会

お振込みが無い場合、担当講師と相談の上、退会扱いとさせていただく場合もございます。

- ♥ 受講中の方で、振替口座登録がお済みでない方は、担当講師までお支払いください。

### ② 再振替廃止についてのお願い

現在、受講料振替を毎月 1 日と、残高不足による再振替を 10 日に、計 2 回行っておりますが  
来年 4 月より、ゆうちょ銀行のシステム変更開始に伴い、  
毎月 1 日の 1 回のみ、変更させていただきます。  
来年 4 月より振替不能の場合、お手数ですが担当の講師まで  
通常の見学料と手数料 ¥200 を添えてお支払いいただくことにいたします。

———ご協力の程、宜しくお願い致します。———





## 年末・年始のレッスンスケジュール

- ❖ 1月1～5日は、お正月休みです。
- ❖ 個人レッスンを受けておられる方は、レッスン日の詳細を担当講師にお尋ねください。
- ❖ 集合レッスンの日程は、以下のようになります。

### <学園前教室>

○…集合レッスンが行われます。

2018年		12月				
日	月	火	水	木	金	土
						①
2	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
9	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
16	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒
23	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙
30	㉚					

2019年		1月				
日	月	火	水	木	金	土
		①	②	③	④	⑤
6	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
13	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
20	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
27	㉗	㉘	㉙	㉚		

#### \*エンゼル・ヴォイス合唱団

12/17(月)・1/21(月) 11:00～12:00

#### \*イタリア歌曲勉強会

12/16(日)・12/24(月) 11:00～12:00

1/20(日)・1/28(月) 11:00～12:00



### <心齋橋教室>

2018年		12月				
日	月	火	水	木	金	土
						①
2	3	4	5	6	7	⑧
9	10	11	12	13	14	⑮
16	17	18	19	20	21	㉒
23	24	25	26	27	28	㉙
30	㉚					

2019年		1月				
日	月	火	水	木	金	土
		①	②	③	④	⑤
6	7	8	9	10	11	⑫
13	14	15	16	17	18	⑰
20	21	22	23	24	25	㉖
27	28	㉘	㉙	㉚		

#### \*エンゼル・ヴォイス合唱団

12/24(月)・1/28(月) 13:30～14:30

#### \*イタリア歌曲勉強会

12/24(月)・1/28(月) 11:00～12:00

会報作成スタッフ

井上美枝子

岡 雅美

後藤悦子

塩見智永子

杉本夏子

堀江久子

山田仁子